



夏休みを前に梅雨が明け、本格的な夏がやってきました。今年は、例年より梅雨の期間が2週間短いとのことですが、梅雨の間から既に真夏日の厳しい暑さが続き、熱中症対策等、体調管理への意識を高く持つことを求められています。この暑さの中、能登半島地震の被災地や大雨・土砂災害の被災地など自然災害によって困難な状況にある方々に心を寄せつつ「ひとりの小さな手 通信 第37号」をお届けします。

戦後79年目の8月を迎えようとしています。現在も、ウクライナやイスラエルなど国外の戦闘のニュースを見聞きして戦争の恐ろしさを感じる日々ではありますが、この暑い暑い夏は、改めて過去の戦争について学び、平和の大切さと平和な世界のために自分たちにできることを考える季節です。

少し前にテレビの中で、平和について尋ねられて答えている小学生の男の子の言葉を耳にしました。『仲良くすること。相手に嫌なことがあったり、意見が違ったりしても、けんかはしない。意見を言って話し合う。話し合っても上手くいかない時は誰かに相談する』話している男の子の目は真っ直ぐキラキラしていて、とても頼もしく感じました。そして、争ったり相手を責めたり非難したりする社会ではなく、お互いに相手の話をきちんと聴き尊重する、大人としてそんな姿を子どもたちに見せていけるようにしたいと思いました。

ますます厳しい暑さに向かいますが、一人ひとりの健康が守られ、私たちが心穏やかに平和な日々を作り出す者となれますようにと祈りつつ過ごしてまいります。

「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど
それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる
ひとりの小さな目 何も見えないけど
それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える
ひとりの小さな声 何も言えないけど
それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える
ひとりで歩く道 遠くてつらいけど
それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる
ひとりの人間は とても弱いけど
それでもみんなが集まれば 強くなれる強くなれる

◇活動報告

○コンサート、チャリティー、募金 等

・第25回 チャリティーコンサート

日 時 2024年3月20日(祝・水)

バイオリン 中西 俊博さん

ピアノ 瀬田 創太さん

「ひとりの小さな手」第1回チャリティーコンサートに出演して下さった中西俊博さんをお迎えし、第25回のコンサートが開かれました。

中西さんのバイオリンと瀬田創太さんのピアノの素敵な音色に包まれ、被災地の方々、戦禍にある方々に心を寄せて祈る時間が持てましたことに心より感謝です。

アンコールで演奏して下さったチャップリンの『Smile』の言葉と音が心に沁み、日々さまざまなことがある中でも笑顔で歩んでいたいと改めて思いました。

来場して下さった皆さま、バザー等さまざまな形でご協力下さった皆さまに心よりお礼申し上げます。

チケット代金	62,000円
手作り品バザー	42,200円
ケーキバザー	54,600円
募金	18,680円
支援金(送金していただいた分)	22,000円



・2024年6月～

手作りの梅ジャム・梅干しチャリティー販売	48,100円
ひまわり募金、お花の葉募金、香り募金 等	6,400円
支援金(送金していただいた分)	5,000円

○被災地との交流、支援

・2024年 4月

ポーランド在住の坂本龍太郎さんを通してウクライナの子どもたちへ

100,000円

- ・絵本「朝いち」を30冊 購入しました。
売り上げは、能登半島地震で被災された方々の支援のために使われるとのこと。
- ・ノーモア広島・長崎・ビキニ・福島
平和といのちのステージのために募金をしました。
※東京公演のDVDがありますので、ご覧になりたい方はお申し出ください。
- ・9月初旬に、コカリナ奏者の黒坂黒太郎さんと奥様の矢口周美さんが、能登半島の被災地を訪問される予定とのこと、その際にひとりの小さな手からの支援もお届けできるよう計画しています。
- ・去る5月28日に西区老松町で火災が発生し、8軒の方々が罹災されました。
老松町町内会長の相馬亮子さん(卒園生保護者、また前人形劇のあの会メンバー)を通してお見舞金(100,000円)をお渡ししました。

去る4月末発行のコカリナ通信に下の記事が掲載されました。
トートバック作成、発送等、関わってくださいましたすべての方々に感謝いたします。

能登半島地震被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。 コカリナの能登半島地震被災地支援活動

日本コカリナ協会はこれまで様々な災害の被災地支援活動を行ってきましたが、
能登半島地震被災地への支援活動も始めています。

能登の子ども達に陸前高田の「奇跡の一本松」のトートバックを

東日本大震災の大津波に耐え生き残った「奇跡の一本松」は被災者だけでなく、日本中、世界中の人々を励ましました。一本松は震災から一年後命を終えたのですが、中をくりぬき、鉄柱を通してレプリカとして再建され、今でも陸前高田の浜に立ち人々に力を与えてくれています。日本コカリナ協会はこの「奇跡の一本松」の枝からコカリナを製作させていただきただけでなく、再建するときに出た木くずから布を作らせていただき、被災地支援に役立たせてきました。「奇跡の一本松」のパワーは被災地の人々に勇気と希望を与え続けたように思われます。
・能登半島地震でも、被災地の皆さんをこの布を使って応援できれば、と「子ども達が通学の時に使うトートバック



クを作り贈りましょう」と呼びかけたところ、いつもコカリナ協会の支援活動を応援してくださっている横浜市野毛山幼稚園の奈良先生がすぐに手を上げてくださり、保護者会で話し合い、皆さんで製作、金沢市郊外の白山市に避難している中学1、2年生に贈って下さいました。今も各地のコカリナ愛好者の方達がトートバックを作成してくれています。引き続き、子ども達への支援を続けていきたいと思っています。

神奈川県 野毛山幼稚園 奈良 亜樹子

この3月11日で東日本大震災から13年が経ちました。13年前、被災地の被害の余りの大きさに呆然とし、何かしたい、私たちにできるとは何なのかと考えながらも、動くことができずいたところへ、「被災地に応援メッセージを送りませんか…」とお声をかけてくださったのが黒坂さんでした。

コカリナの演奏と子どもたちの笑顔が被災地に届けるといふことを通して、私たち自身が「私たちにも何かできる。できることをやってみよう」と始めたのが《ひとりの小さな手プロジェクト》です。

ひとりの力は小さいけれど、みんなの心を合わせ、私たちに出来ることをしていきたいと願い、被災地への支援活動を続けてまいりました。《ひとりの小さな手》では、チャリティーコンサートを開催し、この3月のコンサートは第25回になります。コカリナのコンサートも数回開催。その中で、第2回「つむぐ 一人ひとりの支援の心を紡ぎたい…」、第22回「ウクライナの子どもたちへ…ひまわりを愛を込めよう」と、黒坂さん、周美さんにもご出演いただきました。自然災害が起こるとその被災された方々のために、そしてまた、ウクライナの子どもたちのためにとすぐに行動を起こされる黒坂さんと周美さんには、いつも学ばせていただいています。

今回の能登半島地震が起こった後に、周美さんから、「奇跡の一本松から作った布があるので、それを使って避難中高生たちに袋を作れないか」というお話をいただきました。早速、布を送ってくださったので、手芸が得意な教員が見本と型

紙を作り、この活動へのお手伝いを募集したところ、10人近い幼稚園のお母様たちが申し出て下さいました。ミシンはできないけれども裁断なら…と一言でくださった方もおられます。それから、このバッグが奇跡の一本松から作った布で作られたことがわかるようにトートバッグにつけようと《奇跡の一本松》のモチーフを使った缶パッチのデザインをして下さったり、そこに入れるロゴを考えて下さったり、みんなができることをして下さいました。そして、このバッグ作りの活動に参加できなくても、祈りを持って見守った方々はたくさんおられました。みんな、何かしたい…と思いつつも、どうしたらよいかと思っていたに違いありません。

周美さんがお声をかけてくださったことがきっかけでこの活動ができて良かったと心から思います。楽しみながら選んでくれればよいなと思い、裏地はさまざまな模様と色にして、心を込めて作ったバッグ、出来上がったバッグは去る3月8日に、家族から離れて白山ろく少年自然の家で頑張っていた中学1、2年生に送ることができました。

先の見えない辛い思いをしておられる方がたくさんおられます。その方々が少しでも笑顔になりますように、できることを続けていく…そして、私たち自身も日々の生活に改めて感謝して過ごしていきたいと思えます。「愛の反対は無関心です」とマザーテレサは言われました。「忘れない」想いを被災された方々に届け続けたいと思えます。

◇今後の予定

第26回 チャリティコンサート

日時 2024年11月23日(祝・土)

開場 10時 開演 10時30分

出演 チェンバロ 渡邊 順生氏

バイオリン 渡邊 慶子氏

ソプラノ 渡邊有希子氏



渡邊 ^{よしお}順生氏は野毛山幼稚園第6回生あやめ組でチェンバロ奏者として大変著名な方です。また、渡邊有希子さんは卒園生の保護者で第24回チャリティーコンサートにご出演くださいました。第26回チャリティーコンサートはファミリーで演奏していただきます。東日本大震災の被災地、能登半島地震の被災地、大雨や土砂災害による被災地、戦禍にある世界各地の人々、困難な状況にある方々に心を寄せて祈りつつ、多くの皆さまと共に豊かな時を過ごしたいと願っています。
先の予定になりますが、どうぞご予定ください。



発行 2024年7月23日

ひとりの小さな手プロジェクト

事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地

野毛山キリストの教会・子どもの教会 野毛山幼稚園

根岸ひろみ 浅井知美 奈良亜樹子